

報告文 業務表彰受賞について

平成29年度北海道開発局優良工事等（業務）表彰において、2業務の局長表彰の受賞ならびに3業務の部長表彰を受賞しました。日頃ご愛顧いただいております関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 局長賞

『一般国道12号 岩見沢市 大和地区道路修正設計外一連業務（札幌開発建設部）』
管理技術者 高橋 慶行

『沙流川河道整備外検討業務（室蘭開発建設部）』
管理技術者 横山 篤

■北海道開発局優良工事等（業務）表彰 部長賞

『札比内川2号樋門詳細設計外業務（札幌開発建設部）』
管理技術者 斎藤 秀樹

編集後記

昨年、8月30日から31日にかけての台風10号による本道の被害は記憶に新しいところですが、今年も7月5日から6日にかけての九州北部豪雨は、福岡県及び大分県に甚大な被害をもたらしました。被災原因は、台風3号および活発な梅雨前線による集中豪雨であり、河川に流れ込んだ流木は総量20万トン、土砂崩れの総量は36万トンに達するといわれ、これによる人的被害は死者36名、負傷者21名を数え、家屋被害は全壊173棟、半壊577棟の大災害となりました。とりわけ、近年は全国的に中小河川の氾濫による被害が顕著であり、道では平成29年3月に「河道内樹木管理などの河川維持管理のあり方」で中小河川の河道内樹木、土砂堆積の対策に乗り出したところです。

弊社におきましては、昨年来、国や道及び市町村の災害業務に携わって参りましたが、異常気象による災害がいつどこで起きるか分からない状況の下、今後、防災に係る社内体制を整備し、企業としての社会的責任を果たしていきたいと考えているところです。

また、弊社は来年再構築25年の節目を迎えます。これまで、関係機関の皆様からいただいたご支援に感謝するとともに、心新たに建設コンサルタンツ業としての社会的役割を果たして参りたいと考えています。

さて、弊社「ノート工営」は、本年度第25号を発刊する運びとなりました。第1号から数え四半世紀にわたっての発刊になりますが、これも一重に、発注機関関係者様のご理解とご協力のお蔭であり、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（取締役・社内技術士会会長 野々村清隆）